



横浜市立万騎が原中学校 学校だより

桐の花

令和4年

2月22日

校長 中村 雅一

横浜市旭区万騎が原 31 TEL 045-391-5514 FAX 045-391-5537

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/makigahara/index.cfm>

努力は報われないのか

校長 中村 雅一

何かにチャレンジすることは、人生の中で誰しも一度はあることだと思います。例えば、3年生の皆さんにとって高校入試がそれにあたるという人もいるでしょう。あるいは、今自分の行っているスポーツ競技において、高い目標に向かって努力を続けている人は多いと思います。果たして努力は報われるのか、それとも報われないのか。

北京オリンピックでフリーを滑り終わった直後の羽生結弦選手の「努力は報われないんですね」という言葉。羽生選手は、「4回転アクセル」に果敢に挑戦し、金メダルを目指しました。しかし、結果はあと一步のところまで失敗し、メダルを逃しました。彼のこの挑戦にいたるまでの努力は並大抵のものではなかったということは、演技直後の言葉からも分かります。その後もインタビューの中で「報われない努力かもしれないけど」と、「努力」「報われない」という言葉を何度も発しました。しかし、4日後の会見では「満足した4回転半だった」という言葉に変化します。改めて「努力」という言葉の意味を考えずにはいられませんでした。

完璧であることや結果を求めて努力すれば、その結果が出れば「報われ」、出なければ「報われない」という気持ちになるものです。一つのミスでも、「すべてが終わった」「もう続けても意味がない」「努力はしょせん無駄だった」と考え、気持ちが落ち込んでしまいます。さらに、その失敗やミスによって周囲からの評価も失ったと感じてさらに落ち込んでしまうこともあるかもしれません。

これに対し、高い目標を目指し、自分の可能性や限界を追求するが、結果としてミスをして完璧にはできなくても、その努力のプロセスを自分自身で納得できる場合があります。この場合は、他者からの評価ではなく、自分自身の成長のために、自分が納得できる高い水準を目指して全力で取り組み努力する、そのプロセスを大事にするというものだと思います。まさに、今回の羽生選手の演技そのものと言えます。今回の羽生選手の4回転アクセルへの挑戦が多くの人々の共感を得たのは、その挑戦する姿勢と、結果はともあれ自分の最高を目指してリスクを恐れない勇気に対するものだと思います。

今、生徒の皆さんの中で、もしかしたら、努力して頑張っているのに結果が手に入らず、周囲からも評価されず認められないことで、「報われない」と感じて落ち込む人がいるかもしれません。合格発表の結果から「努力しても無駄だった」と思い落ち込むこともあるかもしれません。しかし、他者からの評価とは別の視点で、人からの評価を求めのではなく、「自分の成長に必要なだから自分の目標を目指す」という努力をこの後も続けていくことで、自分自身の努力に納得ができるのだと思うのです。金メダルも第一志望合格も「目標」であり、その先の目的のための手段です。「努力というプロセス」の中にこそ自分の「成長への発見や学び」があるのだと思います。「成功」より「成長」を1ミリでも感じられるかです。3年生の皆さんは、高校入試という試練に立ち向かい

ました。自分の「これだけやってきた」という事実自信と誇りを持ち、合格校に縁があったと考え、頭も気持ちも次の目標に切り替えて進んでいくことを期待しています。一つの結果は、常に他の選択肢へのスタートになります。出会った結果をどう受け止めるかは自分次第、起きた事実を「正解」にできるのもすべて自分ですから。

終わりに、羽生選手は、他のほとんどの選手が「勝つこと、メダルを獲得すること」を目標にリンクに上がっているのに対し、彼は「フィギュアスケートという競技の可能性を極める」ことを目指していたようにも見えてきます。そして、自分が挑戦したこと、努力したことを後悔していないのだと思います。もちろん、「残念」ではあるけど「やって失敗したこと」よりも、「やらなかったことへの後悔」のほうが、ずっと引きずるし、後々重くのしかかってくるでしょう。そして、努力しても必ずしもうまくいくとは限らないが、報われることをあてにしたなら、もうそれ自体が努力ではなくなるのだと気づかされます。むしろ、目の前のことが自分のどんな未来につながるか考えられるようになり、努力すべき対象を「面白い」「楽しい」と感じ、のめり込むことができるかどうか。そうすると、そのための取組はその人にとってはもはや努力とは感じないのでしょう。羽生選手は「努力が報われないこともある」のは百も承知で、「やらずにはいられなかったこと、自分がやりたかったことをやった」だけなのかもしれません。その姿勢や彼の生き方が人々の心をつかみ、勇気や感動を与える結果となっているのだとしたら、金メダル以上の価値があるのでしょうか。

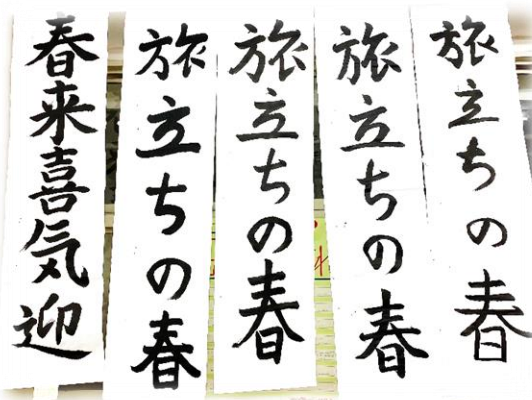
(令和4年 2月18日)

書初め

1月12日(水)～20日(木)まで、書初めの展示を行いました。

書初めは日本古来より伝わる年中行事の一つで、平安時代の宮中における「吉書の奏(きっしょのそう)」という行事がルーツだそうです。それが江戸時代になって「めでたい新年に書道(習字)をする」という行事となって、庶民の間にも広がったそうです。そして、今では年初の抱負や目標を書く正月の風物詩となっています。教室に掲示された書初めのうち数点には金、銀、銅の賞を付けましたが、賞がつかなかった作品からも、新年への思いが十分に伝わってきました。

画仙紙に向かって、思いを筆に乗せ書き上げた時の気持ちを、1年間忘れることなく過ごしてほしいと思います。



生命と性の健康教育

1月11日(火)に昭和大学より上田邦枝先生をお招きして、1・2年生を対象に「生命と性の健康教育 講演会」を行いました。胎児の様子や出産時の様子、今自分たちがここにいる確率(両親が出会い、受精し、生まれてくるまで)が250兆分の1と聞き、生徒たちも自分が生きている奇跡を噛みしめていたようでした。また、性には3つの意識(快楽性・生殖性・連帯性)があることも学習しました。この3つの中で、違う性が互いに協力し合う「連帯性」がとても大切であることを学び、今までとは違う「性」のイメージを持てたと思います。90分近い講演でしたが、赤ちゃん抱っこ体験(3000gの赤ちゃん人形を一人3~5分ほど)を全員が行ったり、数人が妊婦体験(8kgの重りを付けている)したりするなど貴重な体験をすることができ、生徒たちは、実感をもって話を聞くことができ、実り深い学びを得ることができました。

生徒の感想

- ☆250兆分の1の奇跡で生まれたことを知って、自分の命も他人の命も大切にしようと思った。
- ☆すごい確率で自分が生まれたことを幸せだと思った。傷つけないようにしたいと思った。
- ☆親に自分の生まれたときのことや、性について聞いてみたい。
- ☆命の大切さを知った。命を大切にしたい。
- ☆命を授かることの重さを知った。
- ☆今までの性への意識が良い方向へ変わった。性には連帯、生殖、快楽の3つがあることを理解できた。
- ☆LGBTQのようにいろいろな心をもっている人がいるので、配慮していくことが大切だと思った。

新生徒会発足

(新生徒会長の言葉)

私は、この万騎が原中学校の生徒会長として活動していくにあたって2つの公約を掲げています。1つ目は、この万騎が原中学校に通う全生徒の皆さんに充実した楽しい学校生活を送ってほしいという思いから、桐花祭や体育祭などの例年行事を、より一層盛り上げるという事です。そこで2つ目の公約です。例年行事を盛り上げるためには、皆さんの意見を取り入れる必要があります。そのために、昨年度の生徒会本部役員の全員が「実現したい」と公約に掲げつつも、実現することのできなかつた「意見箱の設置」を今年は実現し、そこで「何をしたいか」を意見箱に入れてもらうことで、最高のイベントにしていきたいです。最後にユーモアを忘れず、昨年度の経験をいかして頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いします。

関東大会

卓球部 女子団体〈県大会5位〉
第28回関東中学選抜卓球大会

3月20日~21日 栃木県栃木市

3月の予定をお知らせします

※感染状況等により変更になる場合があります。

3月			
日	曜	行事等	昼食
1	火	3年公立共通選抜合格発表	3年×
2	水		3年×
3	木		3年×
4	金	卒業式予行	3年×
5	土		
6	日		
7	月	3年生を送る会	3年×
8	火	卒業式前日準備	×
9	水	第61回卒業証書授与式	×
10	木		○
11	金	1・2年百人一首大会	×
12	土		
13	日		
14	月		×
15	火		×
16	水		×
17	木	2年球技大会	×
18	金	1年球技大会	×
19	土		×
20	日		
21	月	春分の日	
22	火	教科書配布1年	×
23	水	1年自然体験学習 教科書配布2年	×
24	木		×
25	金	修了式 離任式	×
26	土	年度末休業	×
27	日		
28	月		
29	火		
30	水		
31	木		

4月の主な予定
 7日（木）着任式・始業式・入学式
 8日（金）離任式・対面式
 14日（木）授業参観・懇談会

○○●○○○●○○○○●○○○○○●○○○○○○●○○○○○○●○○○○○○●○○○○○○●○○

学校カウンセラー（松葉優香）による相談

2月・3月の相談日は

2月25日（金）
 3月4日（金）・11日（金）・18日（金）・25日（金）です。

相談予約等は、本校職員または相談室直通電話（391-5891）まで。

○○●○○○●○○○○●○○○○○●○○○○○○●○○○○○○●○○○○○○●○○○○○○●○○